



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和3年11月第5回市長定例記者会見

- ・日時 令和3年11月29日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 (株)東和銀行と地方創生や地域経済の活性化に向けた包括連携協定を締結します(資料1)
- 2 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 運営協議会委員が決定しました(資料2)
- 3 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 常設特別展「桑原巨守と教え子たち」を開催します(資料3)
- 4 ふるさと再発見 渋川の偉人展第8弾として「木暮足翁顕彰展～渋川郷学 吉田芝溪に続く人々～」を開催します(資料4)
- 5 各小中学校にサーマルカメラ(非接触体表温度検知器)及び二酸化炭素濃度測定器を設置します(資料5)
- 6 渋川のまちなかをイルミネーションで彩ります(資料6)
- 7 2021 Ene-1GP MOTEGI KV-40 チャレンジ全国大会 KV-1 高等学校部門で第2位獲得! 渋川工業高等学校自動車研究部が市長を表敬訪問します(資料7)

その他資料提供

- ・「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言署名式を開催します(資料8)

○次回開催予定

日時: 令和3年12月6日(月)午後1時～
場所: 本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
11月29日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	包括連携協定調印式(東和銀行(株))	記者会見室	政策創造課 秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	
17:00	子持産業振興(株)第21期定時株主総会及び取締役会	子持行政センター	農林課	
11月30日(火)	10:00	12月市議会定例会:開会、議案上程	議場	議会事務局
	19:00	令和3年度自治会長との懇談会(小野上地区)	小野上公民館	市民協働推進課
12月1日(水)	7:15	冬の県民交通安全運動に伴う車両広報	小野上地区	市民協働推進課 議会事務局
	10:00	12月市議会定例会:議案上程	議場	
12月2日(木)	7:30	冬の県民交通安全運動に伴う車両広報	伊香保地区	市民協働推進課 議会事務局
	10:00	12月市議会定例会:一般質問	議場	
12月3日(金)	7:15	冬の県民交通安全運動に伴う車両広報	子持地区	市民協働推進課 議会事務局
	10:00	12月市議会定例会:一般質問	議場	
	16:00	渋川工業高校自動車研究部市長表敬訪問	庁議室	秘書室
12月4日(土)	17:00	渋川まちなかイルミネーション点灯式	渋川駅前広場	商工振興課
12月5日(日)				
12月6日(月)	10:00	12月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	16:00	利根郡信用金庫から寄附品贈呈	市長応接室	危機管理室

資料1

担当：総合政策部政策創造課 課長 佐藤 多恵子 電話0279-22-2396 内線2420

(株)東和銀行と地方創生や地域経済の活性化に向けた 包括連携協定を締結します

渋川市は、市内に支店を置く(株)東和銀行との包括的な連携協定を締結します。この協定により、地方創生や更なる地域経済の活性化及び市民サービスの向上など、地域の発展について連携を推進していきます。

1 趣 旨

市内に支店を置き、企業誘致や創業支援など、地域経済に貢献する株式会社東和銀行と包括連携協定を締結します。

この協定は、互いに持つ資源を有効に活用し、協働した活動を推進することで、地方創生や更なる地域経済の活性化及び市民サービスの向上に資することを目的とするものです。

また、市に賛同し、共生社会の実現に向けた取り組みを共に推進するため、「共生社会実現のまち 渋川市」共同宣言に署名を行います。

2 協定締結式について

- (1) 日 時 令和3年11月29日(月) 午後1時から
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室
- (3) 内 容
 - ア 開会
 - イ 出席者紹介
 - ウ 協定締結(協定書署名)
 - エ 「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言署名
 - オ あいさつ
 - カ 閉会

3 連携事項

- (1) 地元事業の販路拡大の連携支援に関する事
- (2) 企業誘致、起業・創業支援等地域の雇用創出に関する事
- (3) 共生社会の実現に関する事
- (4) 持続可能な開発目標(SDGs)の実現に関する事
- (5) 地域の観光促進に関する事
- (6) 地元企業の円滑な事業承継に関する事
- (7) 地元企業の本業支援全般に関する外部専門機関の紹介に関する事
- (8) 結婚、子育て支援及び教育環境の充実等に関する事
- (9) 農林漁業6次化促進に関する事
- (10) 福祉・健康・医療の充実等に関する事
- (11) スポーツ、文化振興等に関する事
- (12) その他甲及び乙が協議して必要と認める事項に関する事

4 その他

株式会社東和銀行は、これまでに高崎市と連携協定を締結していますが、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に関すること、共生社会の実現に関することについては、渋川市独自の取り組みとなります。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に関連し、クリーンエネルギーの活用や社会的課題解決に向けた対応など、環境や社会、健全な経営を目指す管理体制の構築に対する投資であるESG（※）金融について連携に向けた検討を進めます。

※ESGは、「Environment（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（ガバナンス）」の略

資料2

担当：教育部美術館 館長 須田 茂之 電話0279-25-3215

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 運営協議会委員が決定しました

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館の今後の運営にあたり、美術館長の諮問機関として「運営協議会」を設置します。

この度、関係団体等からの推薦委員に一般公募者を含めた総勢10人の委員が決まりました。12月1日(水)に委員委嘱式及び第1回運営協議会を開催します。

1 目 的

誰もが芸術に親しみ、気軽に立ち寄ることができる「街角美術館」を目指すため、また、今後の美術館運営にあたり、美術館長の諮問に対しご意見ご提案をいただくため、運営協議会を設置します。委員は、学校教育及び社会教育の分野の方、美術等に精通した方及び地域振興に関わる方等の学識経験を有する方について関係団体等から推薦いただいたほか、一般公募者を含め総勢10人で構成しています。

2 概 要

委員は、学校教育の関係者3人、社会教育の関係者2人、学識経験者4人（美術等に精通した方、地域振興に関わる方等）、公募した市民1人の総勢10人で構成し、美術館の運営にあたり館長の諮問に対してご意見やご提案をいただくものです。

委員の任期は2年としています。（令和3年12月1日～令和5年11月30日）

3 委員選出の方法

(1) 関係団体からの推薦 9人

学校教育、社会教育、学識経験者（美術等に精通した方、地域振興に関わる方等）

(2) 一般公募 1人

市ホームページ及び「広報しぶかわ」により公募

4 委員委嘱式及び第1回運営協議会

(1) 日 時 令和3年12月1日(水) 午後2時～

(2) 場 所 渋川市役所第二庁舎 201会議室

資料3

担当：教育部美術館 館長 須田 茂之 電話0279-25-3215

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 常設特別展「桑原巨守と教え子たち」を開催します

渋川市美術館は、現在の場所からの移転に際して、令和4年度の1年間の休館を予定しています。現在の場所で桑原作品が観られる最後の機会に、多くの後進を育てた教育者としての一面を教え子たちの作品と共にご覧頂きます。

1 目 的

市美術館は、現在の場所からの移転に際して、令和4年度の1年間の休館を予定しています。ついては、現在の場所での開館業務は令和4年3月31日(木)までとなります。そこで、現在の場所で桑原作品が観られる最後の機会に、桑原が長年にわたり携わった教育現場での一面を紹介するものです。

2 内 容

1967年、女子美術短期大学の造形科彫塑教室の立ち上げに携わり、その後1971年に女子美術大学教授となった彫刻家・桑原巨守(1927-1993)は、1993年に退職するまで多くの教え子たちを送り出しました。今回は、長年にわたり大学の教壇に立ち、多くの後進を育てた教育者としての一面を教え子たちの作品と共にご覧頂きます。

3 展示作家

桑原巨守：1927年群馬県生まれ

1949年東京美術学校彫刻科（現在の東京藝術大学）卒業

1971年女子美術大学教授

1993年女子美術大学退職、名誉教授となる。8月他界。

東京美術学校では、高村光雲の弟子であった関野聖雲(1889-1947)に師事し木彫を学ぶ。桑原はその系統を継ぐ作家として亡くなる直前まで木彫作品も制作をしていたが、主な創作活動は粘土で造られる塑造であった。桑原作品の特徴は、人物をモデルとした人体彫刻で“風”を表現したこと。作家としては二紀会に所属し、各種受賞も多く、国内外で屋外に設置された作品も数多く、市内にも10体が駅前やマロニエ通りに設置されている。

[教え子たち]	津田裕子：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1969年卒業
	柏原花子：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1969年卒業
	渡辺治美：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1969年卒業
	長谷川由美：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1970年卒業
	野原昌代：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1973年卒業
	藤倉久美子：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1974年卒業
	永田春子：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1981年卒業
	山田美智子：女子美術短期大学造形科彫塑教室	1992年卒業

4 日 程

- (1) 開催期間 令和3年12月2日(木)～3月31日(木)
〔開館日数96日間／休館日24日間〕
- (2) 開館時間 午前10時～午後6時
- (3) 休館日 火曜休館(祝日の場合はその翌日)、年末年始12月27日～1月4日

5 会 場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 1階 常設展示室

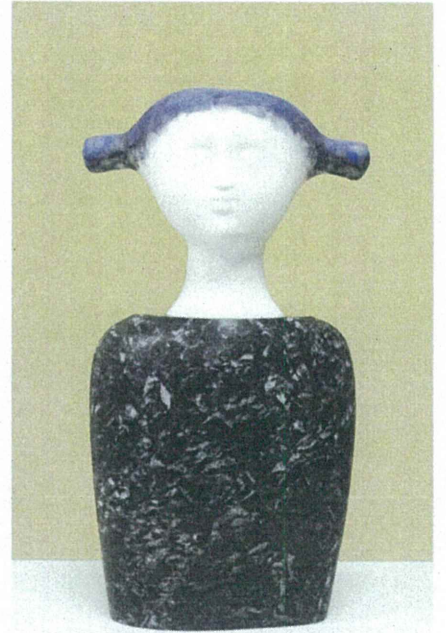
6 観 覧 料 200円
※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料



津田裕子 《新生》
2017年 ブロンズ 69×20×14cm



柏原花子 《風の音II》
2017年 ブロンズ 57×28×22cm



渡辺治美 《half moon》
大理石 アクリル着色 50×27×17cm



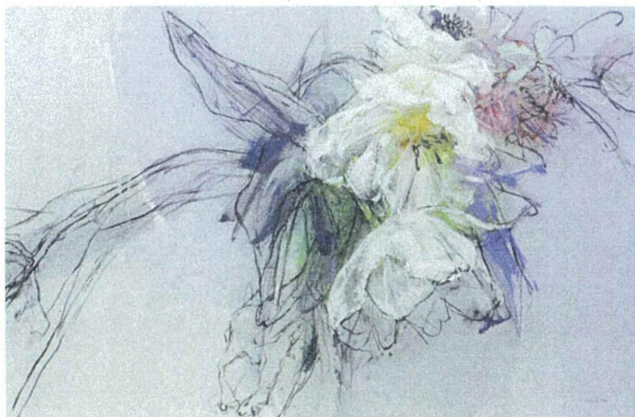
長谷川由美 《開いのあと》
2016年 ブロンズ 34×26×15cm



野原昌代 《霧の朝》
2013年 ブロンズ 石 31×16.5×25.5cm



藤倉久美子 《待っていた日》
2010年 ブロンズ 38×35×28cm



永田春子 《Bloom》 2018年 アクリル 油彩 木炭 キャンバス 53×80.3cm



山田美智子 《一心》 2021年 水性FRP 37×16×20cm

資料4

担当：教育部生涯学習課 課長 橋爪 豊 電話0279-22-2500 内線4950

ふるさと再発見 渋川の偉人展第8回目として 「木暮足翁顕彰展～渋川郷学 吉田芝溪しぶかわきょうがくに続く人々～」 を開催します

渋川市にゆかりのある先人の功績を紹介する「ふるさと再発見 渋川の偉人展」第8回目として、江戸時代の渋川で私塾を開いて弟子の教育にあたり、後に医者として活躍した木暮足翁の偉業を讃え、「木暮足翁顕彰展～渋川郷学 吉田芝溪しぶかわきょうがくに続く人々～」を、12月14日(火)から開催します。

初日の12月14日(火)には、関係者による開催セレモニーを行います。

1 目 的

渋川市にゆかりのある先人の功績に改めて光をあて讃えるとともに、多くの方々にその功績をより深く知っていただき、郷土の誇りとして後世に末永く継承していくために顕彰展を開催するものです。

令和3年3月の渡辺啓助顕彰展に続き、第8回目として、渋川郷学の吉田芝溪に続く偉人、木暮足翁を取り上げます。

2 内 容

江戸時代に渋川の馬問屋に生まれ、吉田芝溪に師事して私塾を開き、後に華岡青洲に医学を学び医者として活躍した、木暮足翁の関連資料を展示します。

3 会場と開催時期

(1) 市役所本庁舎市民ホール

令和3年12月14日(火)～22日(水) 午前8時30分～午後5時15分

※12月14日(火)は正午から。

※市役所閉庁日は除く。

(2) 市役所第二庁舎あじさいサロン

令和4年1月17日(月)～21日(金) 午前8時30分～午後5時15分

4 展 示 品

解説用のパネルのほか、個人所蔵の木暮足翁直筆の書などを展示予定

※作成した解説用のパネルは、顕彰展終了後に市内の各小中学校で行う巡回展示での使用を予定しています。

5 開催協力

顕彰展の開催にあたり、木暮足翁のご子孫の方々や、お墓がある真光寺さんなどの協力を得ています。

6 その他

令和3年12月14日(火)の午前11時から、市長ほか、関係者を含めた開催セレモニーを市民ホールで実施します。

参考

1 「渋川郷学」とは

「郷学」とは、江戸時代の公的教育機関のことを指しますが、渋川町の先人を顕彰するために作り出した造語で、吉田芝溪から木暮足翁、高橋蘭斎、堀口藍園へと続く郷土に家塾を開いた人々の師弟関係を、特に「渋川郷学」と呼んでいます。

2 木暮足翁略歴

1789年（寛政元年）	渋川に馬問屋・木暮与左衛門の長男として生まれる 8歳の時に吉田芝溪に師事し勉学に励む
1805年（文化2年）	師・吉田芝溪に伴われ水戸藩に赴く
1812年（文化9年）	妹夫婦に家督を譲る このころ私塾を開く
1829年（文政12年）	妻を失う
1830年（文政13年）	医学を志し華岡青洲に外科医術を学ぶ 帰郷後医者を開業し傍ら塾を再開する
1860年（文久2年）	安政年間に、開国を促す建白書を幕府役人へ提出する 74歳で没 真光寺に葬られる



【市指定史跡 木暮足翁の墓（真光寺）】

資料5

担当：教育部教育総務課 課長 照井 清豊 電話0279-22-2076 内線4940

各小中学校にサーマルカメラ（非接触体表温度検知器） 及び二酸化炭素濃度測定器を設置します

渋川市は、子どもたちを新型コロナウイルス感染症から守るため、感染症対策として各小中学校にサーマルカメラ（非接触体表温度検知器）及び二酸化炭素濃度測定器の設置を進めています。この度、機器の設置が近日中に完了し、使用を開始することになりましたので、使用の様子を公開します。

1 概要

渋川市は、子どもたちを新型コロナウイルス感染症から守るため、感染症対策として、各小中学校にサーマルカメラ（非接触体表温度検知器）及び二酸化炭素濃度測定器を設置する費用を、9月議会に提案した一般会計補正予算（第7号）で措置しました（予算額828万7千円）。この度、サーマルカメラの設置が近日中に完了し、使用が始まります。

なお、二酸化炭素濃度測定器については、設置がすでに完了しており、各学校で使用を開始しています。

2 設置内容

- (1) 各学校の玄関にサーマルカメラ設置
- (2) 小中学校の全ての普通教室に二酸化炭素濃度測定器を設置

3 設置数

- ・サーマルカメラ 小学校=40台、中学校=27台
- ・二酸化炭素濃度測定器 小学校=187台、中学校=97台

4 設置製品

- ・サーマルカメラ=サーモマネージャーEX（(株)東亜産業）
- ・二酸化炭素濃度測定器=CO2 Manager（(株)東亜産業）

5 使用開始日（サーマルカメラ）

令和3年12月1日(水)から

※機器の設置が終わった学校から順次、使用を開始します。

6 使用を開始する様子の公開

サーマルカメラ等の使用を開始する様子を公開します。取材を希望される場合には、教育総務課（電話0279-22-2076）まで、ご連絡をお願いします。

- (1) 日時 令和3年12月1日(水) 午前7時30分～8時30分
※登校児童が多い時間帯は、午前7時45分～8時の間です
- (2) 場所 渋川市立中郷小学校
- (3) 連絡期限 令和3年11月30日(火) 午後5時

資料6

担当：産業観光部商工振興課 課長 狩野 真洋 電話0279-22-2596 内線4890

渋川のまちなかをイルミネーションで彩ります

まちなかのにぎわいを創出し、華やかな年末年始を迎えるために、2つの明かりに関するイベントを実施します。期間は令和3年12月4日(土)から令和4年1月31日(月)まで。場所は渋川駅前広場周辺と四ツ角県営住宅です。

1 概要

まちなかのにぎわいを創出し、華やかな年末年始を迎えるために、2つの明かりに関するイベントを実施します。「渋川まちなかイルミネーション」は、渋川駅前広場と駅前通りを約6万2千球のイルミネーションと市内高校生が作成したイルミネーションオブジェで彩ります。「四ツ角イルミネーション」は、四ツ角県営住宅の壁面に渋川市PR動画等を投影します。

2 渋川まちなかイルミネーション

(1) イルミネーション点灯

- ①点灯期間 令和3年12月4日(土)～令和4年1月31日(月)
- ②点灯時間 午後5時～10時
- ③点灯場所 渋川駅前広場及び渋川駅前通り周辺
- ④内 容 ①約6万2千球のイルミネーションを街路樹や噴水に設置
②渋川工業高校及び渋川青翠高校のイルミネーションオブジェの展示
- ⑤観 覧 料 無料
- ⑥主 催 渋川まちなかイルミネーション実行委員会

(2) 点灯式

- ①開催日時 令和3年12月4日(土) 午後5時～6時30分
- ②開催場所 渋川駅前広場
- ③実施内容 ①イルミネーション点灯カウントダウン
②ミニコンサート
出演者：渋川工業高校吹奏楽部、ザ・イルミネーションズ
③お菓子無料配布(先着250名)

2 四ツ角イルミネーション

- ①実施期間 令和3年12月4日(土)～令和4年1月31日(月)
- ②実施時間 午後6時～午後9時
- ③実施場所 四ツ角県営住宅
- ④実施内容 県営住宅壁面へのクリスマス用の映像や渋川市PR動画を壁面に投影
- ⑤観 覧 料 無料
- ⑥主 催 四ツ角周辺商店イルミネーション実施協議会

資料7

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏仲 電話0279-22-2110 内線2411

2021 Ene-1GP MOTEGI KV-40チャレンジ全国大会 KV-1高等学校部門で第2位獲得！ 渋川工業高等学校自動車研究部が市長を表敬訪問します

令和3年11月14日(日)、栃木県芳賀郡茂木町にあるモビリティテーマパーク「ツインリンクもてぎ」において開催された2021 Ene-1GP MOTEGI KV-40チャレンジ全国大会のKV-1高等学校部門で、「第2位」を獲得した渋川工業高等学校自動車研究部が市長を表敬訪問します。

1 日 時 令和3年12月3日(金) 午後4時～

2 場 所 渋川市役所本庁舎2階 庁議室

3 訪問者

渋川工業高等学校自動車研究部 (校長、後援会長、顧問3名、生徒13名 計18名)
※第2位を獲得した「車両」を持参(全長3m弱で2人で運べる)

4 出場した大会の情報

2021 Ene-1GP MOTEGI KV-40チャレンジ全国大会 (KV-1 高等学校部門) ※初出場
※Ene-1GP MOTEGI KV-40チャレンジは、充電式単三電池40本を使用し、ツインリンクもてぎ西コースの90分間完走を目指す車両を制作し、速さとエネルギーマネジメントの両立を競う研鑽の場とされています。

・グループカテゴリー (参考)

KV-1…車両重量制限なし、ドライバー重量55kg以上 (装備品含む)

KV-2…車両重量35kg以上、ドライバー重量55kg以上 (装備品含む)

・大会ホームページ <https://www.twinring.jp/ene-1/>

5 大会成績 (渋川工業高等学校自動車研究部から2チーム出場)

【チーム1】渋川工業高校クレセント

・KV-40 ONE LAPタイムアタック 2分57.198秒(KV-1高等学校部門5位)

・KV-40 e-kiden90分ロングディスタンス 38.74km(KV-1高等学校部門3位)

総合成績 KV-1高等学校部門 2位

【チーム2】渋川工業高校ライトニング

・KV-40 ONE LAPタイムアタック 3分15.964秒(KV-1高等学校部門7位)

・KV-40 e-kiden90分ロングディスタンス 32.78km(KV-1高等学校部門4位)

総合成績 KV-1高等学校部門 5位

参考

渋川工業高等学校自動車研究部の過去実績

- ・ワールドエコノムーブ2013 高校生クラス 2位
- ・ワールドエコノムーブ2015 高校生クラス 4位
- ・ワールドエコノムーブ2019 高校生クラス 3位

※ワールドエコノムーブとは、動力源に鉛バッテリー 4個を使用する大会

資料8

担当：総合政策部政策創造課 課長 佐藤 多恵子 電話 0279-22-2396 内線2420

「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言 署名式を開催します

共生社会の実現に向けた取り組みの輪を広げ、機運の醸成を図るため、「共生社会実現のまち 渋川市」の推進に向けた取り組みを、市と共に行う各種団体と「推進共同宣言」に署名します。

この度、下記の団体と共同宣言を行います。これにより、共同宣言団体数は79となります。

1 目的

“自分らしく”、“たがいに寄り添い”、“共に生きる”社会をつくるため、市と共に共生社会実現に向けた取り組みを行う団体と市が共同宣言に署名し、取り組みの輪を広げ、共生社会の実現を加速させることを目的とします。

2 共同宣言署名について

「共生社会実現のまち 渋川市」の推進に向け、協力して取り組みを行う団体等の代表者と宣言文に署名します。

署名式の様子や共同宣言団体名を市ホームページ等に掲載し、各団体の活動内容を周知するとともに、シンボルマークの積極的な活用を共に行うことで、共生社会の実現に向けた取り組みの輪を広げます。

3 第18回署名式の開催

- (1) 日 時 令和3年12月9日(木) 午後4時～
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室
- (3) 相 手 株式会社Aizawa Corporation (所在地：伊勢崎市)
代表取締役社長 相沢 正雄 様

4 第19回署名式の開催

- (1) 日 時 令和3年12月15日(水) 午後1時30分～
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室
- (3) 相 手 笑って子育てロリポップ (所在地：高崎市)
代表 石川 京子 様

5 その他

渋川市は、共同宣言団体を募集しています。賛同していただける団体は、政策創造課（電話0279-22-2396）へ連絡してください。